



一般社団法人

# 関東沖縄経営者協会

Kanto Okinawa Management Association

会報  
第18号  
第19号  
合併号



発行日 2021年2月22日  
(1、4、7、10月発行)

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6 田中ビル別館6階  
TEL 03-3525-8944  
FAX 03-3251-6305

URL <http://www.kanoki.jp/>  
Facebook <https://www.facebook.com/kanoki.jp>

## 念願の関東沖縄経営者協会の 事務所を開設！ 新垣進会長



皆さんに嬉しい報告です。念願の関東沖縄経営者協会の創立55年目にして神田に事務所を開設しました。(日本

アドバンス社から賃貸名義を移行)

私は今から13年前の2008年に関東沖縄経営者協会に入会し、その後2011年理事になり今年で10年目になります。その当時、毎月1回開催される理事会の開催場所は沖縄ツアーリスト様の会議室や理事の経営する会社の会議室を借用し転々としていました。

会員数も現在でこそ100社を超えますが、その頃は33社ほど、協会の口座にはわずかな残高しかなかったことを今でもはつきりと覚えています。もちろん事務所など無く有楽町からほど近い東京沖縄県人会の事務所内に間借りし、デスク一つを割り当てられている状況で、経営者を自負する私としては寂しい限りでした。

何故、お金を稼ぐスペシャリストの集団のはずの経営者協会が、一般人が主体の他団体の事務所に居候しているの

だろうと。

初めて参加した理事会の場で私は、先輩の理事の方々を前に生意気にも「皆さん、恥ずかしくないんですか！」と強く訴えたのをはつきりと覚えています。そして、自分がかし会長になることがあれば、必ず経営協会の事務所もちたいと強く心に刻んだものです

それから約10年目の今年、この1月には各理事の協力もあり会員を増やした結果、会費収入が増えたことや元会長の重田顧問の協力もあり、神田のオフィス街に念願の事務所を構えることができました。

開設したばかりの事務所ですので、レイアウトもなにもかもこれから考えて行こうと思います。少しサロンのような雰囲気でも気軽に立ち寄りたくなるそんな事務所もいいですよ。会員の皆さま！どうぞお気軽にいらしてください。もちろん、沖縄賛助会員の皆様には上京の際の拠点として活用してもらいたいです。事務所には重田顧問が常駐していますので、安心していらしてくださいね。いつでも大歓迎です。

これからは会員同士の会合の場として、人・もの・情報が交差する活気あふれる場になったら本望です。今期からの経営者協会は変わりました。他団体の応援もできるだけの団体になりました。

昨年、新里基金の意義を念頭におき、その活かし方を各理事で考えました。そして既に前期からコミュニティラジオのFMかわさきでは、毎月一度、経営者協会会員の紹介をしたり、地元沖縄で根強い支持を得る沖縄グラフには大きな紙面に沖縄賛助会員の紹介を毎月掲載。そして地元2大新聞の琉球新報、沖縄タイムス両社には若手経営者を取り上げてもらうよう働きかけたりと様々なアプローチを仕掛けています。



新事務所：右上(壁)に歴代会長の写真を掲示

今、コロナ禍で経営者協会の皆様は誰もが大変な思いをしているものと思います。今は辛抱の時ですが、コロナが終息し経済が再び動き出した時には、大きな痛手を負った会員には協会として必ず応援をしたいと思えます。アフターコロナを見据え、今はとにかく元気を失わず、次に大きく羽ばたくために踏ん張りましょう。

少し経営の方へ話しを移すと、会員の中には、今回のコロナで、日ごろのキャッシュフローがいかに大事かを痛いほど心に染み込ませたという人も少なくないと思います。今後は銀行との付き合い方やキャッシュフローの重要性など経営者にとって大事なことを、幾度も修羅場を潜り抜けてきた経営者の賛同を得て、「経営の在り方」などの経営セミナーを開催したいと考えています。

とにかく次世代を担う若手経営者を応援する為にも熱意溢れる若手理事に活躍の場を用意し、もつと会員同士が交流できる場所をいくつかもいくつか増やしていこうと思います。今、コロナに大打撃を被った沖繩の賛助会員のことが非常に気になります。その苦しみは報道はもとよりに会員からの情報でよく知っているつもりです。本土と沖繩の行き来が正常に戻った暁には、ぜひ賛助会員の皆様と交流会を開きたいと考えています。コロナ終息後の秋口あたりになるかもしれませんが、その時には関東沖繩経営者協会として沖繩に出向きます。

救世主となるワクチンの接種まであと3か月との報道を耳にしました。あともう少しです。まちがいなくコロナが終息したあとに物凄いチャ

ンスがやってきます。

関東沖繩経営者協会の会員は今のピンチをビッグチャンスに変えられます。もう少しの辛抱です。一緒に頑張りましょう！

みなさん

書いてみませんか？

広報委員長 根間 柢至

広報委員長を3年程やらせて頂いておりますが、会報に掲載するための原稿がいつも枯渇状態にあります。これは自分自身の未熟さだと感じ、今更ながら寄稿する会員が増えてくれたら**と思います**、この話を記します。読んでも書きたいと思わないかもしれませんが、1人でも書いてくれる人が出来たら、大きな成果だと思っておりますので宜しくお願いします。

よく三流の人は「物」を遺す。二流の人は「お金」を遺す。一流の人は「人」を遺すと聞きます(誰から聞いたか忘れましたが…)。これからの話が当てはまるかどうかは微妙なところですが、原稿が欲しいので始めます。

数年前、知り合いの本屋さんから一冊の本を紹介されました。本のタイトルは『後世への最大遺物』、著者は内村鑑三です。キリスト教の人です。この本、割と有名な本のようなので読んだ事がある方もいらっしゃる**かもしれませんが**。1894年(明治27年)7月に箱根で行った講演録です。とても薄い本なので、一気に読めると思っています。

内容はタイトル通り、次の世代に何を遺すかという内容です。そこで、内村鑑三が1番初めに上げたのがなんと！「お金」です。

本屋さんからも聞いていたのでびっくりはしませんでした。が、実際読んでみて、なるほどと思えました。**一言で言う**と、「お金」を、いっぱい、いっぱい遺して社会に有益に使えという事のようにです。2番目に上げたのが、「事業」です。この項目を読んでいる時はアフガニスタンで用水路を作った故中村哲さんが思い浮かびました。

莫大なお金、大企業というものは、誰でもそう易々と遺せるものではありません。内村鑑三もそれらを遺せる天才がなければ、ただ滅んでしまおうと言っています。しかし、そういう天才が無くともまだ一つ遺すものがあるそうです。よかつた、よかつた。これが今回の主題でもあります。それは：「思想」だそうです。この本の中でも『もしこの世において私が私の考えを實行することができなければ、私はこれを實行する精神を筆と墨とをもって紙の上に遺すことができる』と言っています。そして、幕末の勤皇思想に影響を与えた、当時のベストセラー頼山陽の『日本外史』、今の世界を作ったと言っても過言ではない(と思う)思想家ジョン・ロック等を取り上げています。内村鑑三がそのジョン・ロックを紹介する書き出し(話し始め)が面白いのでそのまま引用します。『イギリスに今からして200年前に痩せこけて丈の低いしじゅう病身な一人の学者がおった。：何も用のない者と思われて、しじゅう貧乏して裏店のようなところに住まって：

世の中に知れない人で、何もできないような人であった：』こんな感じです。このような人の書いた本が後にルソー、モンテスキュー等が読みフランス革命が起こり、その後のアメリカ建国につながったそうです。誰からも注目されていない、病弱の背の小さい**貧相なおじさんの思想**がフランス革命を起こし、アメリカを作ったって!!スゴイ!!

どうぞ、皆さんの「思想」を遺してください! 国を作るような思想も歓迎ですが、会員、会社、友人、家族等身近な人へのメッセージとして、また読んで誰か一人でもホッコリするようなもの、誰か一人でも元氣が出るようなもの、誰か一人に少しでも役に立つようなものがあればどしどしお寄せください! その一人は書き手のあなたでも構いません。三流の人は「物」を遺す。二流の人は「お金」を遺す。一流の人は「人」を遺す。関東沖繩経営者協会の会員の皆さん「お金」「事業」「思想」を通して「人」を後世に遺してみてはいかがでしょう! 私個人としては三流にも程遠いですが：トホホ。では、原稿お待ちしておられます。**そういえば**、この本の話には続きがあります。「お金」「事業」「思想」を遺せない人はどうすればいいのか? 誰にでも遺せる「後世への最大遺物」。ちゃんとその答えが書いてあります。ホッとしました。興味のある方は「読



おすすめの本

※書いてみようと思ってください。方、根間、または新垣会長、山川事務局長、8ページ下の委員の方々へお問い合わせください! ありがとうございます。

## 池村流 コロナ禍の健康法

池村 昌彦会員



このコロナ禍、実感が無く実態が見えない敵を恐れ「コロナにかかったらどうしよう」と、自律神経のバランスが乱れ、不眠、イライラしがち：などになっている人をよく見かけます。

「かかったらどうしよう：」と対策をすることも大切ですが、「かからないように免疫力をあげる」ということも大切じゃないか? ということを解剖生理学・東洋医学の両面から提案したく記事にさせていただきました。

「免疫力」とは、体に入ってきた菌やウイルスを排除する、「人間が本来持っている力」です。その免疫力を下げるのが、

- ・精神的緊張や心労
- ・肉体的苦痛

・気候(暑・寒)などによるストレスです。

だからといって、全てがダメなわけではなく、「適度なストレス」は必要で、生活のメリハリ・成長や能力向上など、良いこともあります。

しかし、今現在・令和の時代は「まれにみる不況」「コロナという敵」「先の見えない時代の

大転換期」など、過度なストレスにさらされています。

解剖生理学的には、持続的なストレスを受ける脳がストレスに反応、ステロイドホルモンなど神経伝達物質が分泌され、免疫細胞である白血球や細胞の働きを低下させます。

東洋医学的には、「恐れ・不安」という感情的な部分によるストレスと、冬の「寒冷」という外的ストレスにより、腎臓と似た機能で「腎経」という経絡が弱り、老廃物・不要物の濾過・排泄ができず蓄積、免疫機能が低下してしまいます。

免疫力をあげるには、

- ・バランスの良い食事
- ・十分な睡眠
- ・軽い運動などが重要です。
- それと体を温めるという意味で、
- ・体の芯まで温まる入浴
- ・体を冷やさないう着衣
- ・昔の人の知恵としては、
- ・青竹ふみ
- ・腹まき(腎の経絡を刺激・冷えを防ぐ。)
- ・プラスアルファ笑うこと!

免疫細胞であるナチュラルキラー細胞が活性化し免疫力向上(笑)。

色々悩むより、たくさん眠って、適度に動いて、お風呂でリラックスしながら、コロナなんて笑い飛ばしたほうがいいですね(笑)。ではみなさんこのコロナ禍を「なんくるないさ」で乗り切りましょう!



2021年、  
「沖繩」を再び盛り上げる!!  
株式会社エスプロ 板倉 俊輔会員



東京都の代々木公園で「OKINAWAまつり」というイベントを約10年開催しております。株式会社エスプロの板倉です。2021年、新たに東京と沖縄でこれまでにない新しいイベントを開催いたします。まず今年の夏、8月28日(土)29日(日)に葛飾区にある新小岩公園にて、「沖繩フェスティバル」を開催いたします。

最大の見所は、東京にいながら沖繩をリアルに感じられるバーチャル体験ブース。デジタルテックノロジーを活用したこれまでにない全く新しい体験型イベントです。

そして今年の冬、12月30日(木)31日(金)に豊見城市にある美らSUNビーチにて、「OKINAWA COUNTDOWN」を開催いたします。こちらのイベントは、海上から打ち上がる花火やランタン、音楽ライブやイルミネーションと共に新年を盛大に祝う屋外カウントダウンイベントです。

新型コロナウイルス感染症による経済活動停滞のなか、弊社ではコロナ終息後を見据え、新たなデジタルテクノロジー



イベント風景

ジーも駆使しながら、沖繩の魅力を伝えると同時に沖繩のさらなる活性化の一翼を担いたいと考えております。

弊社の最大の武器であるベンチャースピリットで、これまでの常識を打ち破る唯一無二のイベントに育て上げる所存です。で、ご興味がありましたらぜひお気軽にお問い合わせ下さい。



ステージ風景

鶴見ウチナー祭2020年  
オンライン開催  
下里 優太理事



2016年11月に第1回目を開催し、2019年には約7万人の来場者を数え、鶴見を代表するお祭りになった鶴見ウチナー祭。

しかし2020年、新型コロナウイルスの影響で全国のお祭り、イベント開催が中止となり、鶴見ウチナー祭も現地開催が出来なくなりました。

実行委員の中でも「中止」の考えと「何か出来る事は無いか」の意見が分かれました。そこでたどり着いたのが「オンライン開催」でした。これまでは出展料や協賛で運営費を捻出していましたが、今回はその収入が見込めない為、「クラウドファンディング」にも挑戦。今年上手くい

かなくとも、来年以降にきつと生かせる行動になると信じて開催に向け活動して行きました。

しかし、初めての事ばかりで実行委員だけではなかなか前に進まない。そこで昨年まで設営運営を依頼していたチームに相談し、オンライン開催に必要なノウハウを学び、「一緒に作り上げていく事になりました。毎年夏に中野で開催されている「中野チャンプルフェスタ」がオンライン開催すると聞き、実行委員メンバーで手伝いをしながら開催の様子を拝見。必要機材や動画配信のスケジュール、現場での流れを教えてください。開催に向けてイメージを共有していききました。

開催当日にトラブルが無いように1週間前に「プレ開催」も配信し、本番当日に向け準備。

11月8日の本番は6時間の生配信。テレビ局真柄の機材とスタッフで大きなトラブルもなく無事終了。常時600名程の方が視聴し海外からのアクセスもあり、現地開催よりも多くの方々に「鶴見ウチナー祭」をアピール出来たかと思えます。

このノウハウを地元のお祭りや沖繩のイベント等と共有し、少しでも「新しいお祭り」に貢献していきたいです。

新しい事に挑戦するのは勇氣もいりますし、リスクもあります。これからは何が起きてもおかしくない時代になる中、柔軟に対応し、常に挑戦し続ける「鶴見ウチナー祭」でありたいと思います。



イベント配信風景

連載 第8回  
私の経歴書

重田 辰弥 顧問



那覇高から琉大、1年で退学

昭和34年、私は琉球大学法政科に入学しました。この年同じ那覇高3年4組から5人、同期全体で50人以上が琉大に進みました。

当時の沖縄では首里高と並び那覇高が琉大の一大勢力でした。法政科の那覇高同期には後の協栄生命沖縄支社長の藤村君や山梨学院大教授の我那覇政男君がいました。私が琉大を受験した時、泉裕巳農学部長から「辰弥君、法政科現役で一番合格ですよ!」と聞いて帰宅した父の顔が忘れられません。この泉裕巳さんは当時琉球政府の副主席を務めていた泉有平さんのご子息で、私達と同じ奄美の須子茂出身で、お二人は共に鹿児島大農学部卒でした。この泉さんは当時父が経営を委託されていた(株)南西鉄工場のオーナーでした。今思うと学部長とはいえ、当時の大学の情報管理の甘さを感じます。私はこの「琉大法政一番合格」を聞き、喜びより、「えー!なんで私が!」と驚きました。と言うのは私の高校同期のライバルは当時の沖縄県の国費・自費制度によって、九大、阪大、徳島大、信州医大、新潟大医学、東京医科大等に進学し、当時の琉大受験はこの国費、自費の落ちこぼれ組の一面があったのです。私はなんだか「落ちこぼれ組の一番」のような気分

になり、授業には出ず翌年の早大受験を目指し、学内の志喜屋図書館で受験勉強ばかりしていたら、結局琉大を一年で辞めることになりました。

何故、私が国費、自費を受験しなかったかというところ、私にはその資格は無かったのです。1953年奄美大島が日本復帰し、当時沖縄にいた奄美出身者は外国人扱いになり、在琉許可登録(外人登録)を義務付けられました。納税義務はあれど参政権は無く、奄美出身の私は国費、自費受験資格もなく、琉大に行っても米国留学の資格もありませんでした。また、学校を卒業しても公務員や教職への就職は出来ませんでした。

私達の高校時代は国費、自費受験は憧れの的で、同期のトップクラスは殆どこれに挑んでいました。当時の琉大はこの国費、自費受験に失敗したメンバーが多く、琉大を合格しても毎年、翌年、翌々年には国費、自費を受験するメンバーがあり、言わば琉大は予備校の要素がありました。また、琉大、中でも最難関の英文学部卒のトップクラスはガリオア資金(米陸軍省の「占領地域統治救援資金」)を受け、米国に留学しました。この米国留学卒業生は「金門クラブ」を形成した沖縄のエリート階級でした。当時の私達にとってこの日留(国費・自費)と米留はエリートコースで憧れの的でした。奄美出身の私は先に述べたとおり国費、自費、米留の資格もなく、入学した米国民政府管理下の琉球大を当時の文部省は大学と認めず、専門学校扱いで、沖縄の日本復帰は見え

沖繩はグアムやパラオの様にアメリカの信託統治下に置かれるのではと、私は自分の未来に言いようのない閉塞感に襲われていました。これが私の琉大退学、「脱琉、北へ!」の動機でした。

余談ですが、この沖縄県学生の本土留学の国費、自費制が発足したのは1953年での第1期の50名近い合格者の3分の1は奄美出身学生でしたが、この年の12月の奄美の日本復帰に伴い、奄美の合格者は全員取り消されました。同時にこの年、奄美出身の池畑初代琉球銀行総裁、宝村復興金融公庫総裁、屋田電電公社総裁等々も解雇追放でした。在沖奄美出身の私達にとってこうした未来封鎖が私が琉大を一年で辞めた背景でした。

理事会報告

第1回 KOMA 理事会

8月5日(水)19時、※オンライン会議(ZOOM)併用

エッサム神田1号館7階中会議室

第54回定時総会后、新垣卓也理事の進行の元行いました。

●代表理事選定

代表理事 新垣進を選出

第2回 KOMA 理事会

8月19日(水)18時、※オンライン会議(ZOOM)併用

おきなわ食彩ダイニング 琉花(会員運営店舗)

【重要】新型コロナウイルス対策の指針と対応の基本方針

## ●基本指針

・会員は本業最優先。コロナ終息まで本業を守り、会社の生き残りを目指す。

・関東沖縄経営者協会は闘う経営者（会員）を応援する。情報シェアと互助の実践。

## ●具体的な対応

・会活動：自粛。終息するまで集会は中止（総会、経営セミナー、異業種交流会他）

・理事会：基本は開催。オンライン会議併用。ロックダウンの場合はオンライン開催のみ。

【役員改選】今回は実施しない。コロナ終結次第、役員変更もあり得る。

【登記変更】コロナ終息が見えた時点で処理を行う。

【広報委員会】（会報、HP）情報発信強化。

会報発行とHP、メールマガジンで有益な情報を随時発信。

【会員増強委員会】【研修・人材開発委員会】イベント中止。自粛解除後、新里基金活用でイベント・セミナー、異業種交流会強化。

【総務委員会】総会、忘年会の対応。

【首里城実行委員会】イベント中止。募金は継続。

## ●委員会報告

## ●総務委員会

【第54回定時総会報告】

開催方法…集会型総会実施（三密回避策）

A 総会招集は正会員のみ。

B 会員に書面投票と委任状の提出を奨励。

C ZOOM参加も奨励。

・【忘年会企画】10月の理事会で続行か中止かを決定する。

## ●会員増強委員会

【ゴルフコンペ・カラオケ大会・異業種交流会を中止する】

## ●広報委員会

会報第17号…9月発行予定。紙面内容 コロナ特集。会長が執筆。金城理事（会計士）執筆。

●広報委員会ホームページ HP進捗状況

○FMかわさきラジオについて

●研修・人材開発委員会…

【第13回「経営セミナー」中止】

●首里城実行委員会…

○重田顧問【復元活動支援講演会】延期

●その他

【沖縄芸能フェスティバル】中止

## 第3回 KOMA 理事会

9月9日(水)18時

※オンライン会議ZOOM併用 KOMA事務局(日本アドバンス)

【重要】新型コロナウイルス対策の指針と対応の基本方針を継続

●総務委員会…8月24日メール一斉同報

第54回定時総会の動画が視聴可

・忘年会について

●会員増強委員会

【ゴルフコンペ・カラオケ大会・異業種交流会】引き続き中止

●広報委員会…会報第17号…9/17発行

●広報委員会ホームページ…HP進捗状況…

総会動画会員限定閲覧ページ

・過去のセミナー動画掲載、過去の会報掲載、

会員の情報掲載は作業中

・FMかわさきラジオ…

7月21日近藤ゆうな理事、8月4日下里優太理事が出演

●研修・人材開発委員会…

【第13回経営セミナー】引き続き中止

以前に行ったセミナーの動画を公開する。

・会員に有益な情報提供をする。

●首里城実行委員会…動きなし。

## 第4回 KOMA 理事会

10月14日(水)18時

※オンライン会議ZOOM併用 沖縄家なんくるないさ(天久達子会員 運営店舗)

【重要】新型コロナウイルス対策の指針と対応の基本方針を継続

○会計報告

・新里基金についての報告

・1月17日 首里城寄付金

・8月25日 関東沖縄IT協議会

新垣会長・重田顧問等で新里彩社長を訪問

予定。(コロナ状況を見て日程を決める)

●沖縄賛助会員を中心に支援：オキナワグラフにて会員紹介をする

●正会員を中心に支援：FMかわさき

●総務委員会…

・忘年会中止

●会員増強委員会…

【ゴルフコンペ】開催

期日…2020年11月3日(火・祝日)

スタート時間…午前8時30分

会場…南市原ゴルフクラブ(アコーディア・ゴルフ)

・【カラオケ大会・異業種交流会】引き続き中止

●広報委員会…

・会報第17号 発送完了報告…10月5日まで

に発送完了。

- ・原稿収集について協力をお願い
- ・過去のセミナー動画掲載、過去の会報掲載、会員の情報掲載を作業中
- ・FMかわさきラジオ10月・池村昌彦会員

●研修・人材開発委員会

【第13回経営セミナー】引き続き中止

- ・以前に行ったセミナーの動画を公開。
- ・会員に有益な情報提供

●首里城実行委員会

- ・入金状況報告…入金状況（9月の入金額230万円）

●沖縄賛助委員会

- ・理事との「ブレインストーミング」ZOOMミーティングを開催する

第5回 KOMA理事会

11月11日(水)18時～※オンライン会議(ZOOM)併用

KOMA事務局(日本アドバンス)

【重要】新型感染症ウイルス対策の指針と対応の基本方針を継続

- 沖縄賛助会員を中心にオキナワグラフにて会員紹介

11月号～来年5月号 1/2頁、11月号 東風平高根会員、12月号 座安雄照会員

●正会員を中心にFMかわさきにて支援

- 正会員を支援：金城会計事務所通信を配布案
- 新里賞／若手経営者等を表彰する

●会員増強委員会

- ・第22回ゴルフコンペ開催の詳細を報告
- ・【カラオケ大会・異業種交流会引き続き中止】

●広報委員会

- ・会報第18号 金城理事（入稿済）、池村会員。原稿を理事は各自会員から1件収集して提出。原稿収集…理事1件ずつ原稿を集める。
- ・琉球新報、沖縄タイムスを活用した会員紹介案

●広報委員会ホームページ部

- ・過去のセミナー動画掲載を作業中、過去の会報掲載、会員の情報掲載

・FMかわさきラジオ（11月東風平高根会員）

研修・人材開発委員会

【第13回経営セミナー】引き続き中止

- ・過去のセミナーの動画公開↓進捗状況
- 首里城実行委員会…変化なし

●沖縄賛助委員会

- ・理事との「ブレインストーミング」ZOOM
- 【報告】沖縄県経営者協会「かりゆし塾」に國吉亮治委員がKOMAから参加(自費参加)

○【協力依頼】公益財団法人沖縄協会へ寄付ご

協力お願い

○【報告】映画「だからよゝ鶴見」協賛返礼品到着

第6回 KOMA理事会

12月19日(水)18時～※オンライン会議(ZOOM)併用

おきなわ家(豊里副会長運営店舗)

【重要】新型感染症ウイルス対策の指針と対する応の基本方針を継続

【報告】東京沖縄県人会への寄付

新里基金についての報告

- 1月17日 首里城再建寄付金
- 8月25日 関東沖縄IT協議会

●沖縄賛助会員中心に支援：オキナワグラフ会

員紹介（11月号～来年5月号 1/2頁）

- ・12月号 座安雄照会員、1月号 池村昌彦会員
- ・正会員を中心にFMかわさきにて支援継続

・正会員を支援：金城会計事務所通信を配布

●新里賞／若手経営者等を表彰する

●総務委員会

- ・第55期定時総会・記念講演・懇親会
- 会員増強委員会

・ゴルフコンペ終了報告

・「ZOOM 異業種交流会」を企画。（沖縄賛助委員会とコラボ）

●広報委員会

- ・会報第18号 引き続き原稿を各理事は各自会員から1件収集を依頼。沖縄賛助会員の記事を座安委員へ依頼。

発行時期…1月予定

原稿収集…理事1件ずつ原稿を提出。

●広報委員会ホームページ部…過去のセミナー

動画掲載、過去の会報掲載、会員の情報掲載

・FMかわさきラジオ11月（東風平高根会員）

●首里城実行委員会…動きなし。

●沖縄賛助委員会

・「ZOOM 異業種交流会」1月中旬に実施予定。

○【協力依頼】（公財）沖縄協会へ寄付お願い

○【報告】沖縄県の叙勲者・県厚労賞・琉球新報賞・沖縄タイムス賞・受賞者合同祝賀会

・11月3日に宮城重哲沖縄賛助委員長が参加

○新垣会長 来年1月から琉球新報「南風」で連載（半年間）

### ゆいまゝる広場 1

琉球創喜Labo合同会社 代表社員

山畑 喜会員

ハイサイ！琉球創喜Laboの山畑喜一と申します。2020年4月、中央区八丁堀に沖繩そば専門店オープンしました。

当店のこだわり3カ条

- ①自家製生麺 沖繩そば麺はお店よつてさまざま。そこで当店がこだわったのは麺の風味ともちもち食感！開発に1年半費やし、まかないがほぼ毎日麺になりスタッフから「麺ハラスメント」とひなんを受けました(笑)。
  - ②麺を引き立てるスープ・トロトロ口そーき スープは鰹出汁ベースに豚と鶏のさつぱり仕立て！トロトロまで煮込んだそーきは、簡単に箸で切れる軟らかさ。毎日、お店で作りにしています。
  - ③真心込めたおもてなし どんな時でも明るく元気をモットーに1人1人お客様、共に働く仲間を大切にします！
- コロナ禍でどこも大変な時ですが、当店の沖繩そばで身も心もちこころになってください。あつ！通販もやっています！ぜひ1度ご賞味ください！



https://okilabo.jp/

### ゆいまゝる広場 2

事務所紹介 金城 敦理事



やんばる大宜味村津波(『ツナミ』では無く『ツハ』と読む)出身の金城です。

高校は、本島最北端の辺士名高校で、大学は大阪のマグロ大学(正式名は近畿大学と言う)に行きました。

現在は、豊島区池袋で、小さな会計事務所を開いています。

開業して丸20年、また、新たなスタート台に立っています。

これまでの20年は、自分自身が力を着ける事、顧問先を増やす事、従業員の給与を確保する事等に目を向けて、仕事をしていました。

これからは、自分自身が力を着けることは勿論ですが、顧問先のために何が出来るか？顧問先に必要とされる存在になること、自分の力を顧問先のために如何に還元するか？これまで20年育てていただいたご恩返しが出来ればと考えています。

- いま、私の手帳の裏表紙には、2021年の生き方(指針)が7項目書かれています。
- 1・笑顔(笑顔にまざる化粧なし)
- 2・感謝(自分以外のものに感謝する、自分以外のものは皆、先生)

20年前は、この2項目から、スタートしていました。

3・かつこ良く生きる(原田美枝子さんの出たドラマで息子さんに言われた言葉『男(人間)は、かつこ良く生きなさい』)

4・勇気(辺士名高校の校訓の一つ、誠、愛、勇)

5・自分を信じる

6・ゆつくりゆつくり

7・自分を大切に、更に他人を大切に。

機会あるごとに手帳を見て、自分自身が常に前を向いていけるよう努めています。が、まだまだ、7項目すべて実践できていないのが、現状です。

(会計事務所の業務案内)

- 1・記帳・会計処理の指導
  - 2・月次決算の指導(巡回監査)
  - 3・会計システム導入の支援
  - 4・決算申告書の作成
  - 5・税務申告書の提出(所得税・法人税・消費税・相続税・贈与税等)
  - 6・申告は認体制の確立のための支援(書面添付制度)
  - 7・決算事前対策の指導
  - 8・経営計画策定の指導(継続MAS)等
- (事務所住所等)  
東京都豊島区東池袋1丁目31番10-812号  
TEL 03-3971-1155  
FAX 03-3971-1156  
メールアドレス kinzyo@tkcnf.or.jp

## 一般社団法人関東沖繩経営者協会会報

発行日 2021年2月22日発行 通巻第18・19号  
発行 一般社団法人関東沖繩経営者協会  
発行人 新垣 進

デザイン・印刷 (株)ドルフィンズ  
編集 広報委員長 根間 柁至

広報委員会 委員長：根間 柁至 副委員長：山城 真志  
委員：豊島律子、新垣進、近藤ゆうな、新垣卓也、金城敦、島袋健一、三宅千晶、池村昌彦、山川夏子

住所 〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6 田中ビル別館6階 TEL:03-3525-8944 FAX:03-3251-6305  
E-mail info@kanoki.jp URL www://kanoki.jp Facebook https://www.facebook.com/kanoki.jp

新規会員を募集しております。ご希望の方、ご連絡をお待ちしております！

